

犯罪と被害者

(社会と安全(1))

東京都市大学校友会 川崎支部 平成28年度イベント

認定非営利活動法人神奈川被害者支援センター

岸野 哲

経歴

- 2009年3月（平成21年） 武蔵工業大学定年退職
- 2009年7月 NPO法人神奈川被害者支援センター相談員
- 2012年9月 東京都市大学非常勤講師退職

何故被害者支援？

特定非営利活動法人神奈川被害者支援センター

- 平成13年(2001年) 5月13日 設立
- 平成14年(2002年) 10月 7日 NPO法人格取得
- 平成19年(2007年) 6月21日
国税庁長官より「認定特定非営利活動法人」の認定取得
- 平成20年(2008年) 3月26日
神奈川県公安委員会より「犯罪被害者等早期援助団体」の指定
- 平成21年(2009年) 6月 1日
「かながわ犯罪被害者サポートステーション」設置
- 平成24年(2012年) 2月 1日
性被害者支援四者協定締結
県産科婦人科医会、県、県警、本センター

話の流れ

- 犯罪の実情(加害者)
犯罪白書より抜粋
- 犯罪の実情(被害者)
出会う問題、心の傷、望む支援、実態
- なぜ犯罪は無くならないのか
法律、社会変化、格差、・・・
- 恐ろしい話
神経犯罪学、心理学、行動遺伝学、行動計量学、
比較心理学、動物行動学、・・・
- まとめに代えて

犯罪の実情(加害者)

- 認知件数ベース
- 犯罪の分類(神奈川県警)

刑法犯

凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯、知能犯、風俗犯、その他

重要犯罪

殺人、強盗、放火、**強姦**、略取誘拐・人身売買、**強制猥褻**

重要窃盗犯

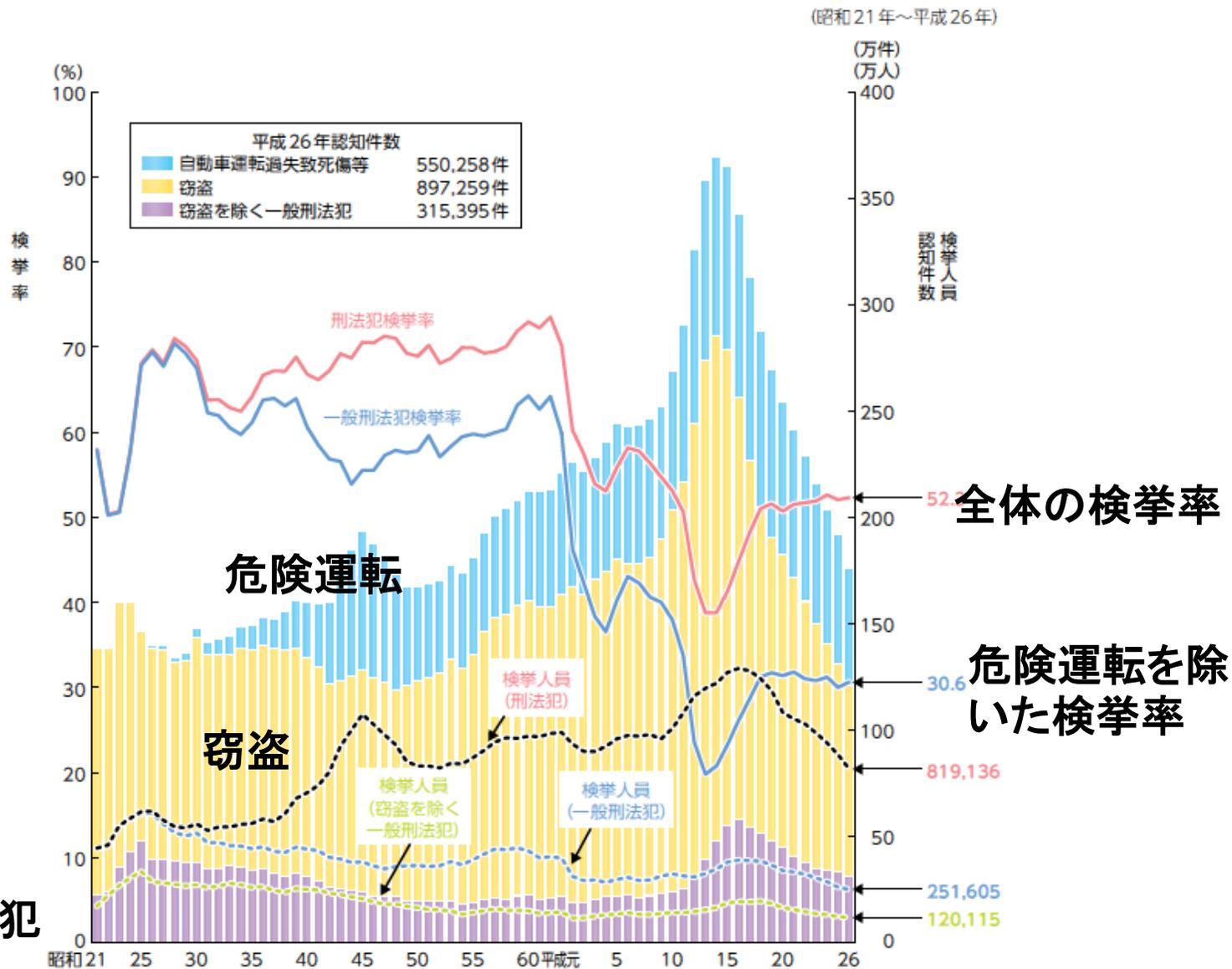
侵入盗、自転車盗、ひったくり、すり

サイバー犯罪、少年事件、交通事故、その他

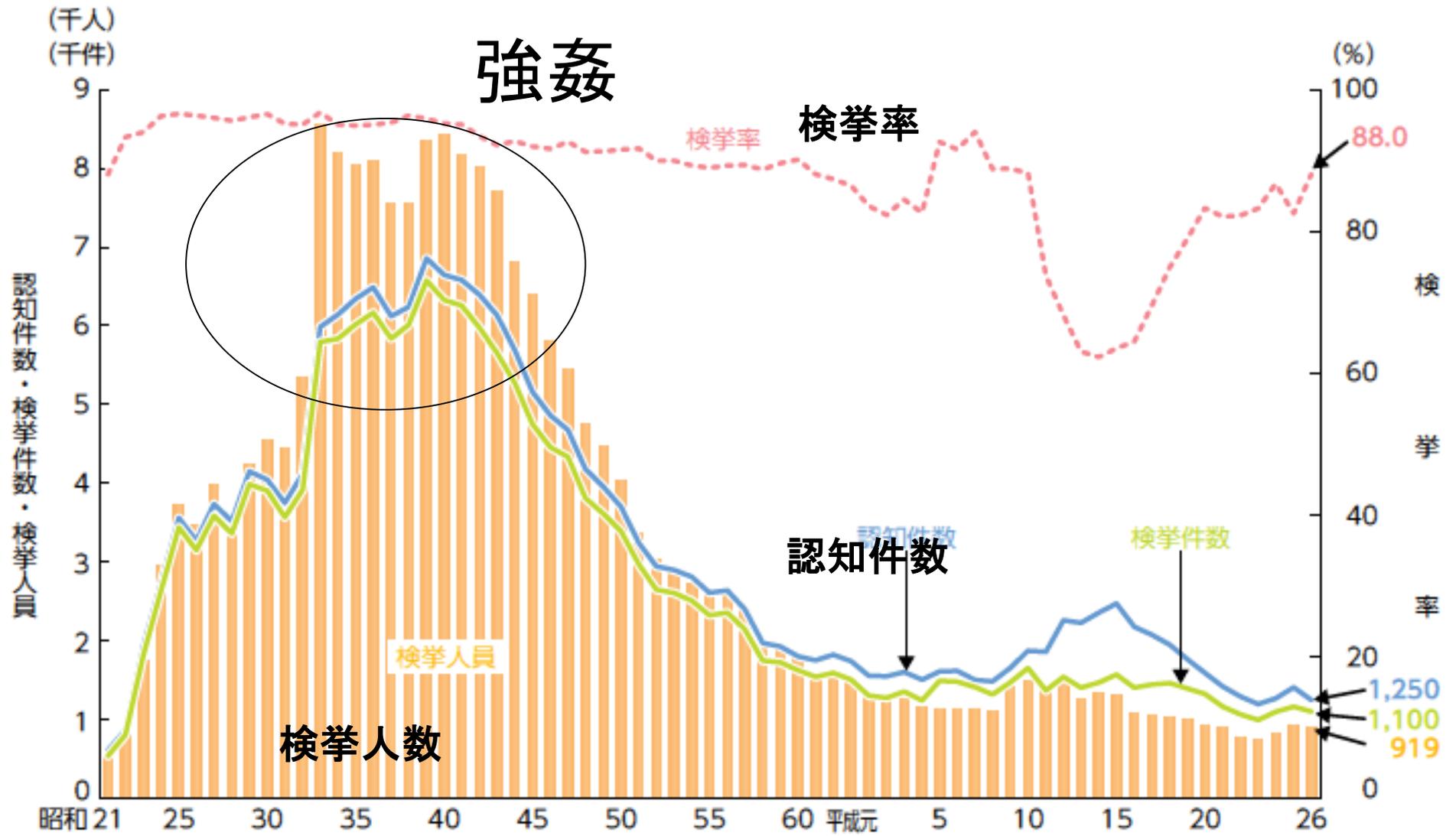
刑法犯認知 件数と検挙率

認知件数最多
平成14年369万3,912件

窃盗を除く一般刑法犯



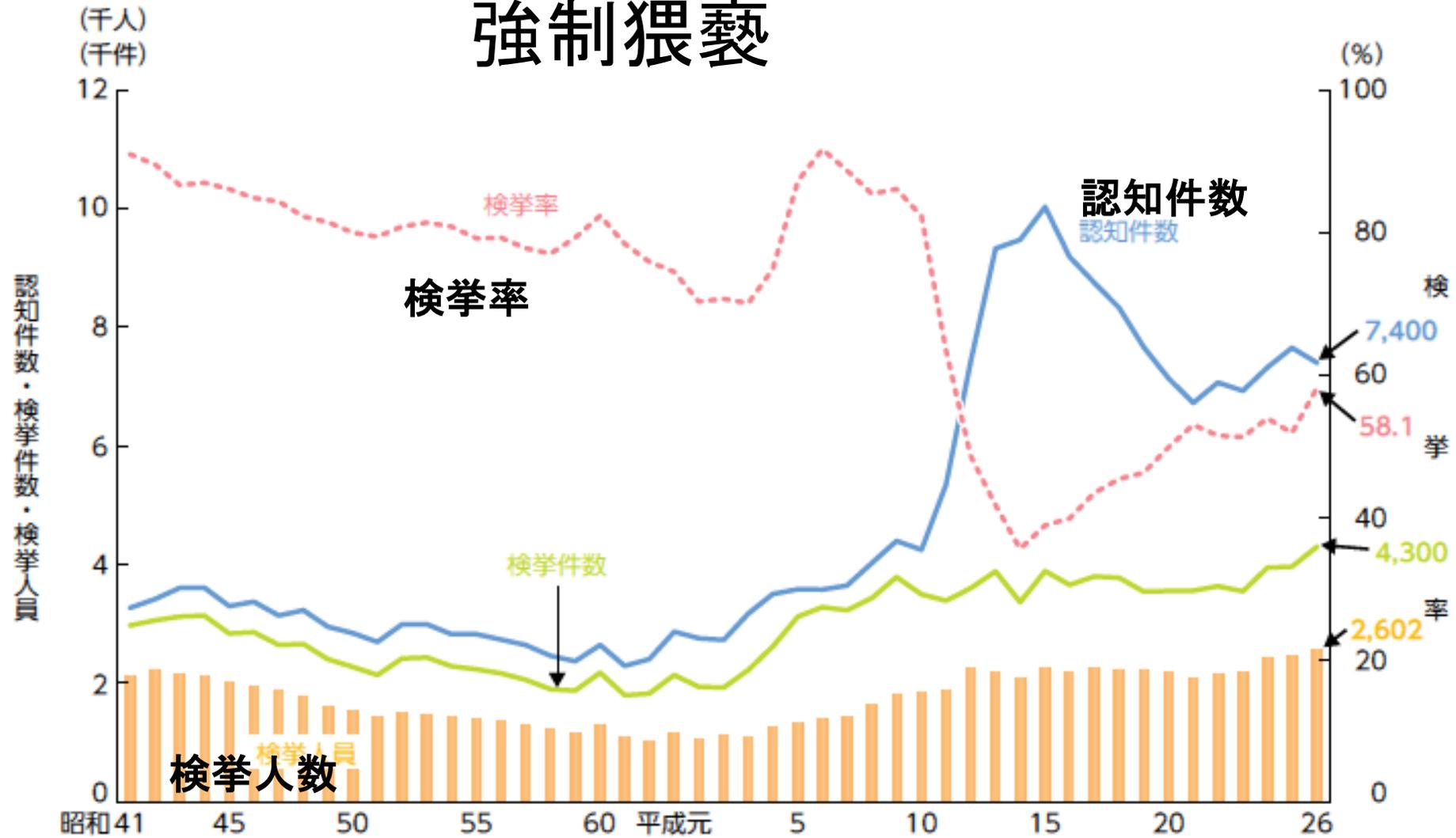
注 1 警察庁の統計による。
 2 昭和30年以前は、14歳未満の少年による触法行為を含む。
 3 昭和40年以前の一般刑法犯は、業過を除く刑法犯である。



注 1 警察庁の統計による。
 2 昭和30年以前は、14歳未満の少年による触法行為を含む。

(昭和41年～平成26年)

強制猥褻

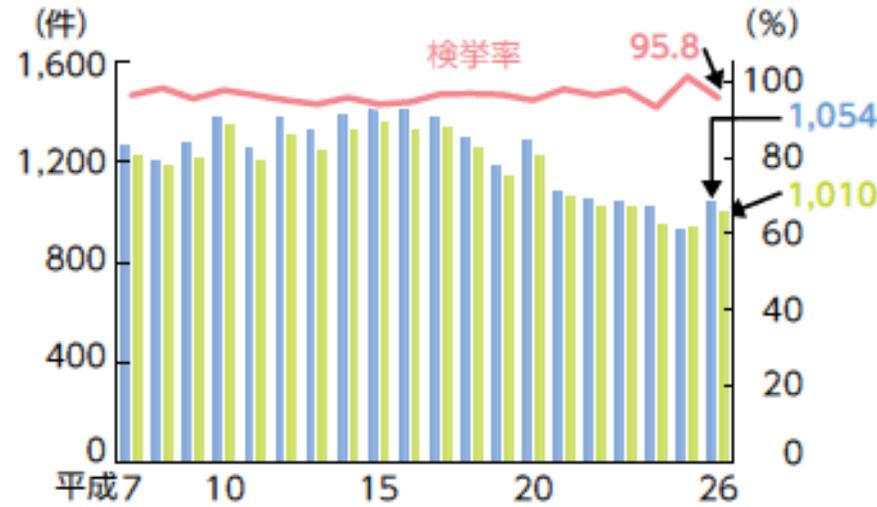


- 注 1 警察庁の統計による。
2 強制わいせつと公然わいせつを分けて統計を取り始めた昭和41年以降の数値を示した。

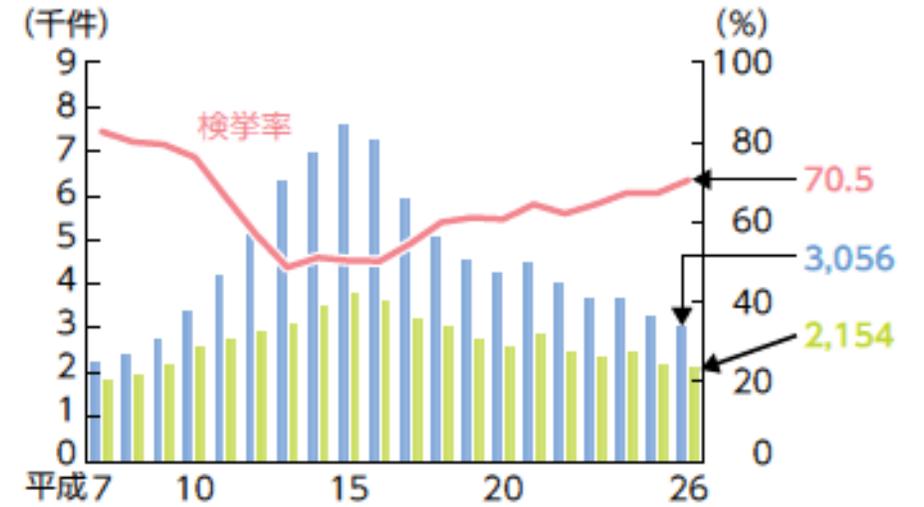
(平成7年～26年)

検挙率

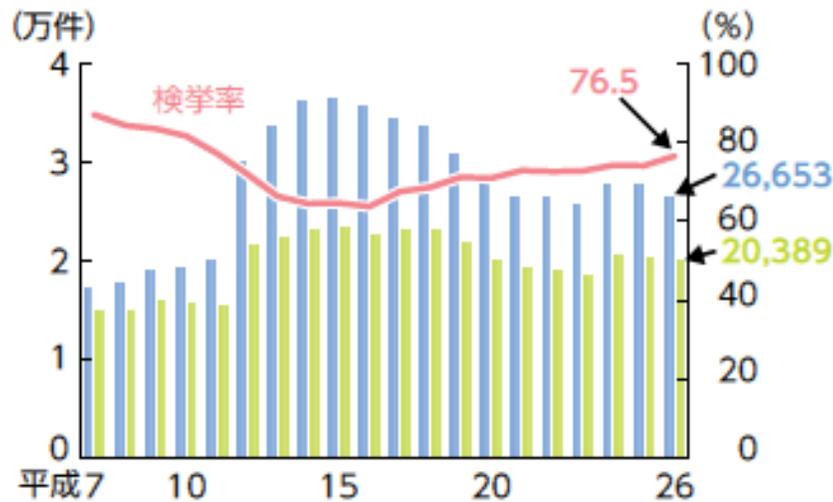
① 殺人



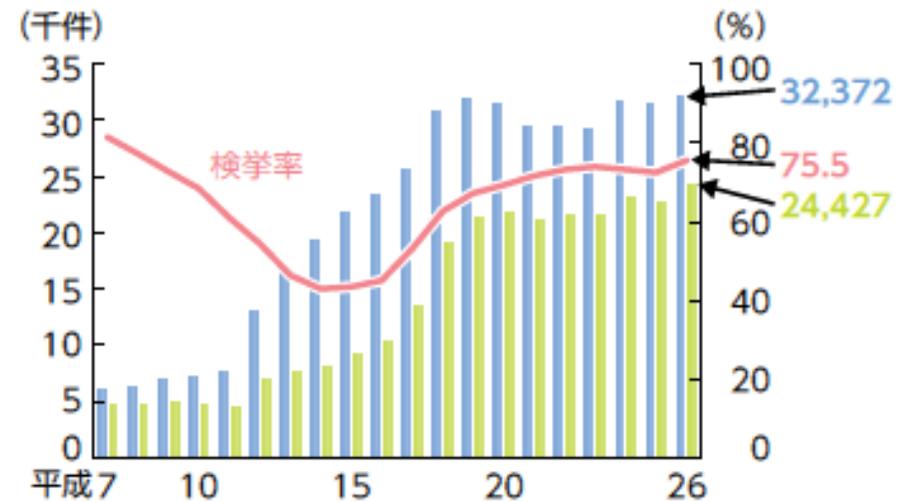
② 強盗



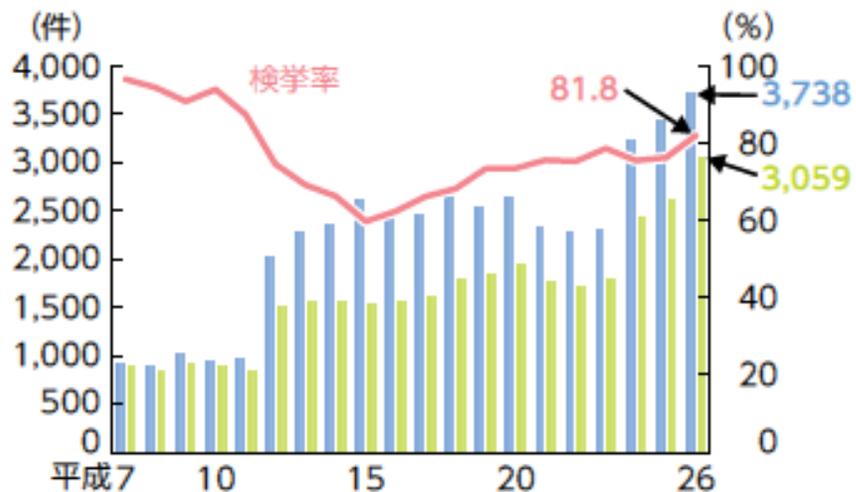
③ 傷害



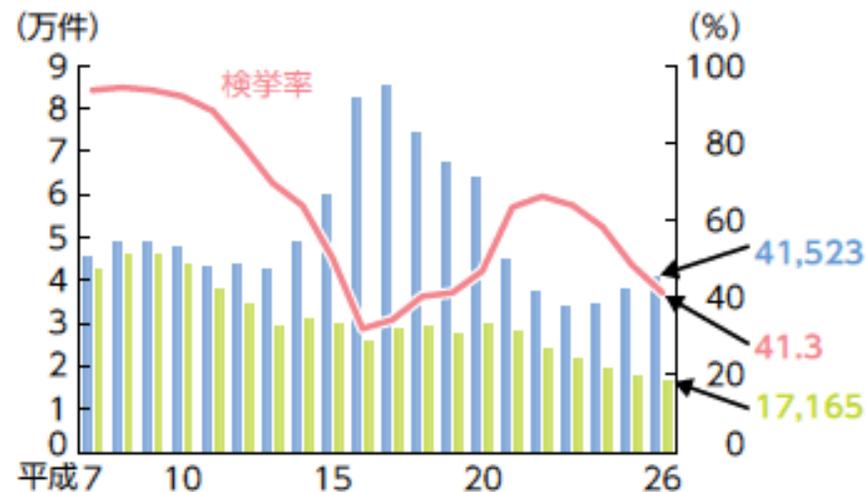
④ 暴行



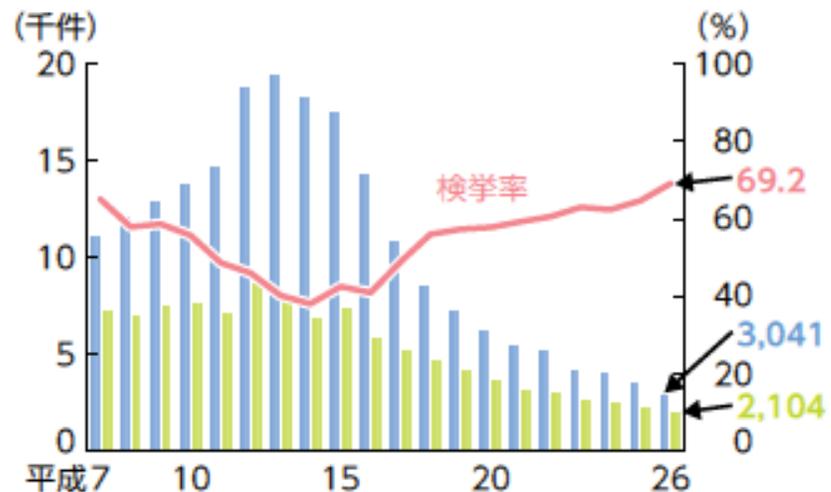
⑤ 脅迫



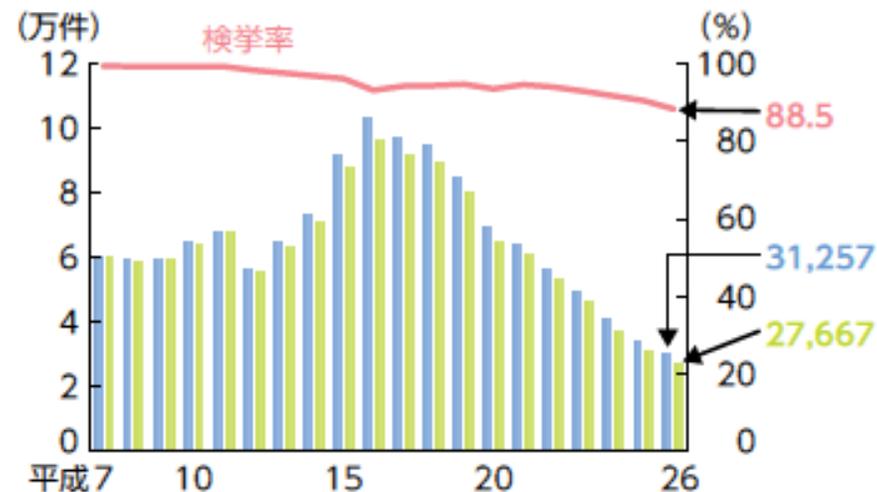
⑥ 詐欺



⑦ 恐喝



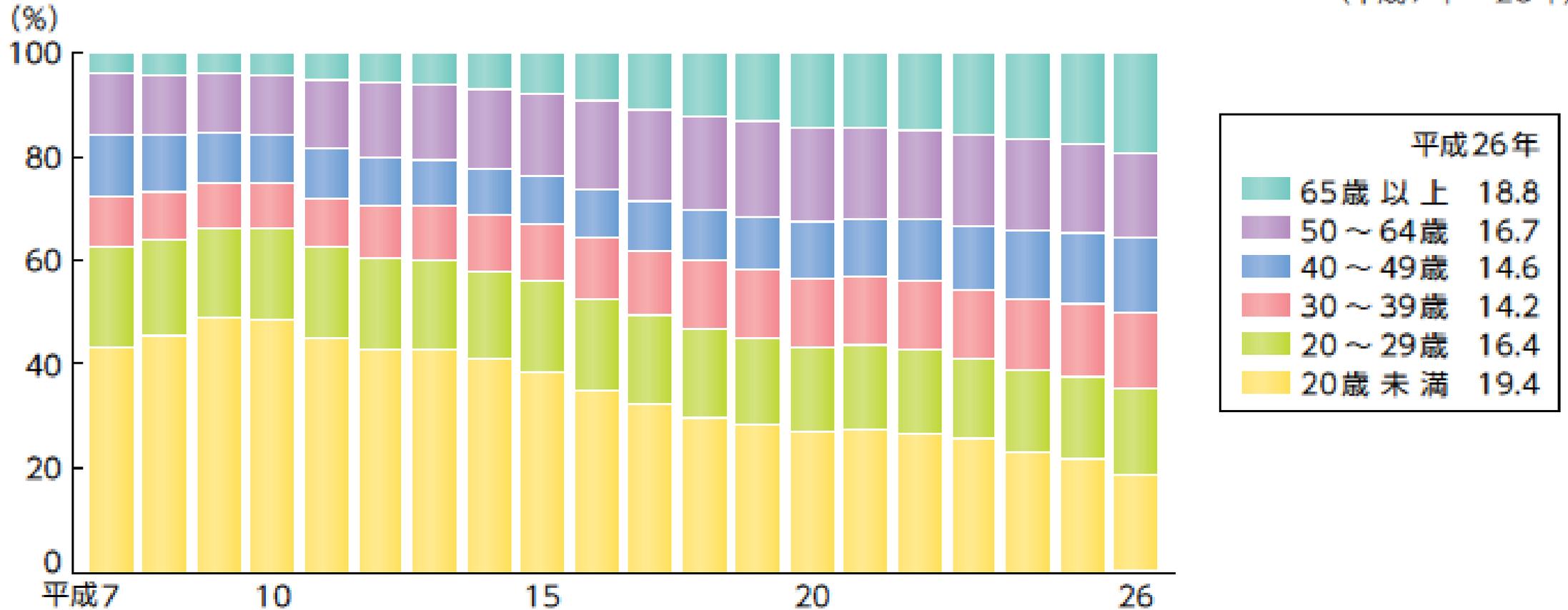
⑧ 横領 (遺失物等横領を含む)



■ 認知件数 ■ 検挙件数

検挙者の年齢構成(一般刑法犯)

(平成7年～26年)

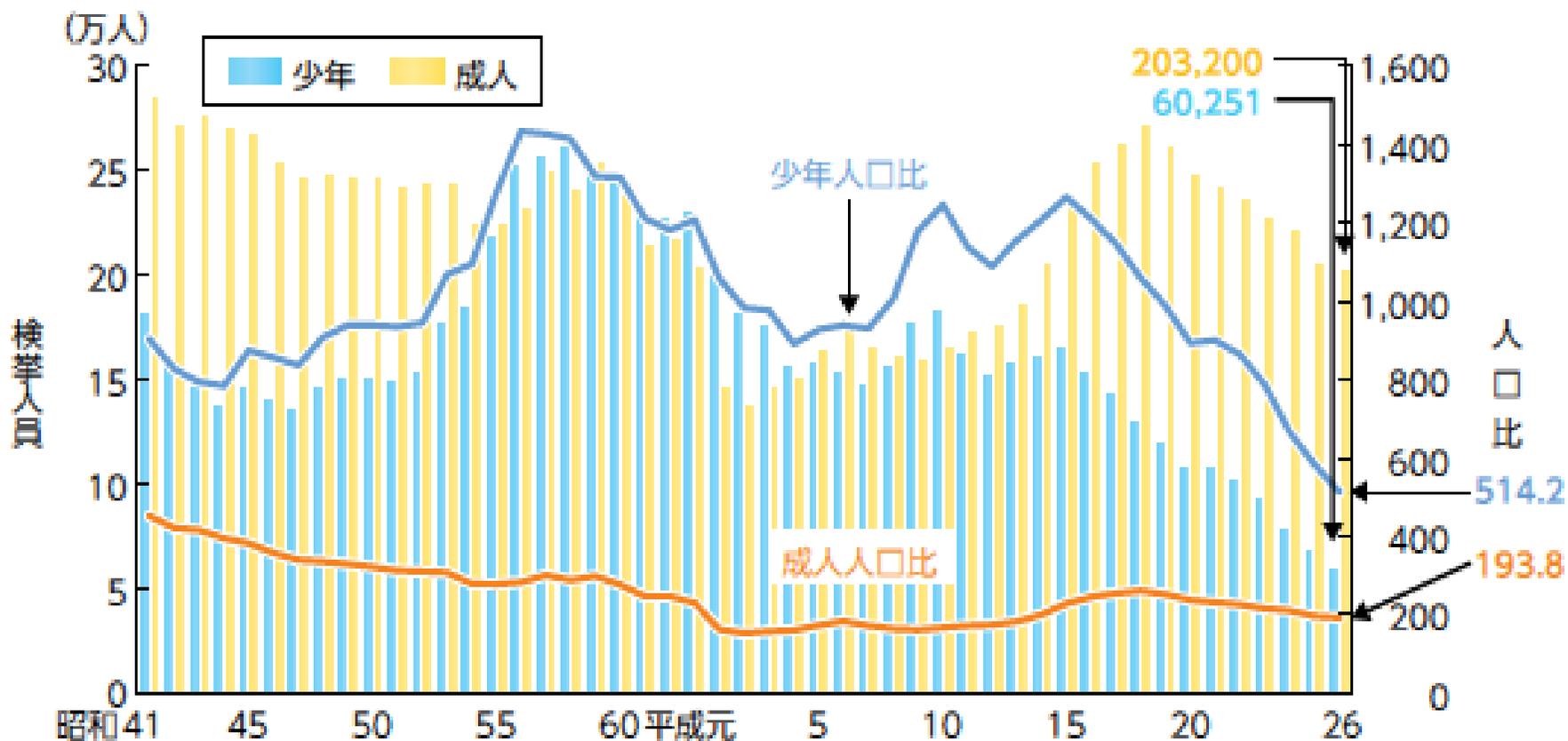


- 注 1 警察庁の統計及び警察庁交通局の資料による。
2 犯行時の年齢による。

刑法犯少年成人比較

② 一般刑法犯

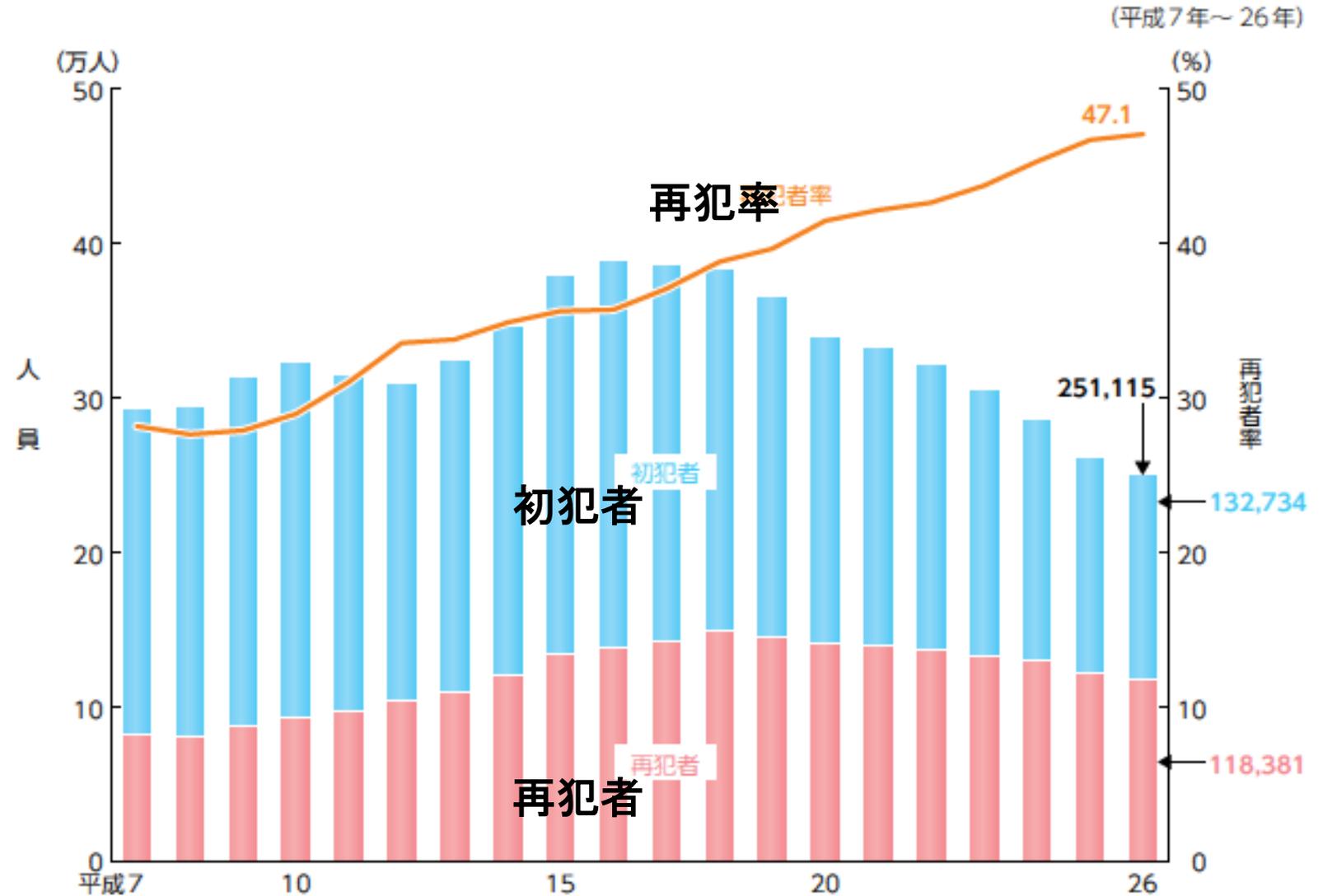
(昭和41年～平成26年)



- 注 1 警察庁の統計、警察庁交通局の資料及び総務省統計局の人口資料による。
2 犯行時の年齢による。ただし、検挙時に20歳以上であった者は、成人として計上している。
3 触法少年の補導人員を含む。
4 ①において、昭和45年以降は、自動車運転過失致死傷等による触法少年を除く。
5 「少年人口比」は、10歳以上の少年10万人当たりの、「成人人口比」は、成人10万人当たりの、それぞれ刑法犯・一般刑法犯検挙人員である。

一般刑法犯再犯率

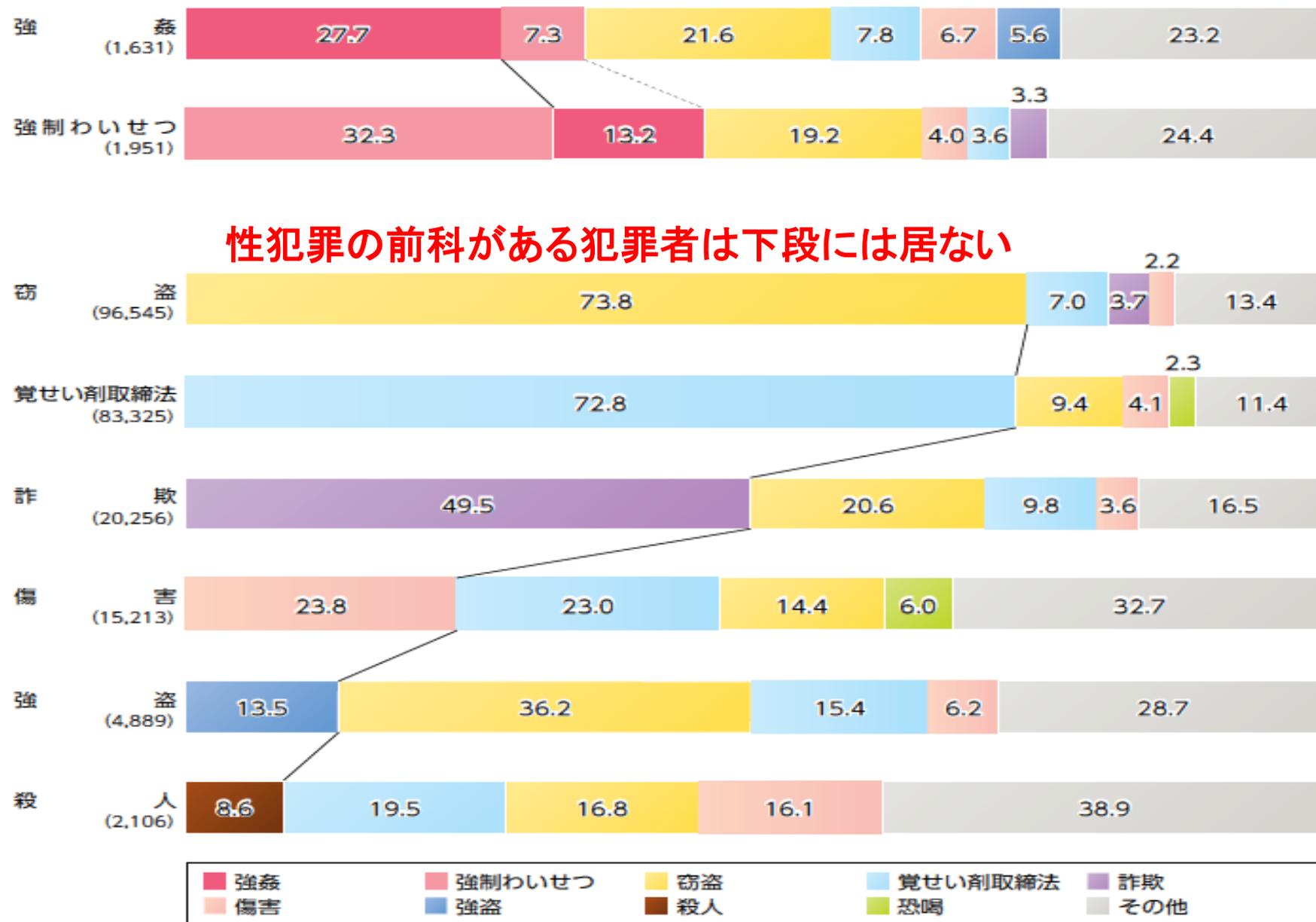
道交法違反を除く



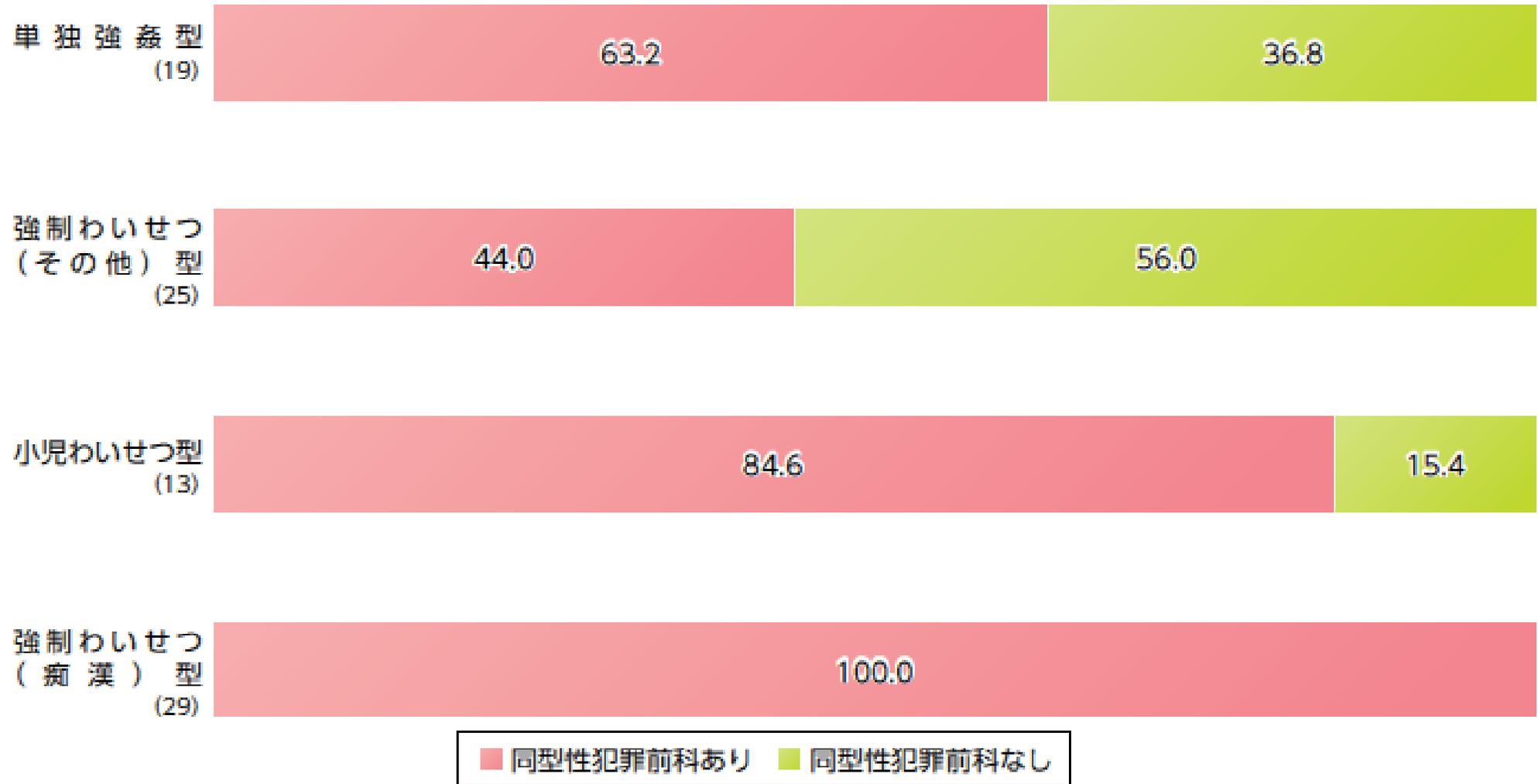
- 注 1 警察庁の統計による。
2 「再犯者」は、前に道交法違反を除く犯罪により検挙されたことがあり、再び検挙された者をいう。
3 「再犯率」は、検挙人員に占める再犯者の人員の比率をいう。

犯罪別再犯者の前科

(平成7年～26年の累計)



性犯罪前科2回以上の者 同型性犯罪前科の有無別構成比 (類型別)

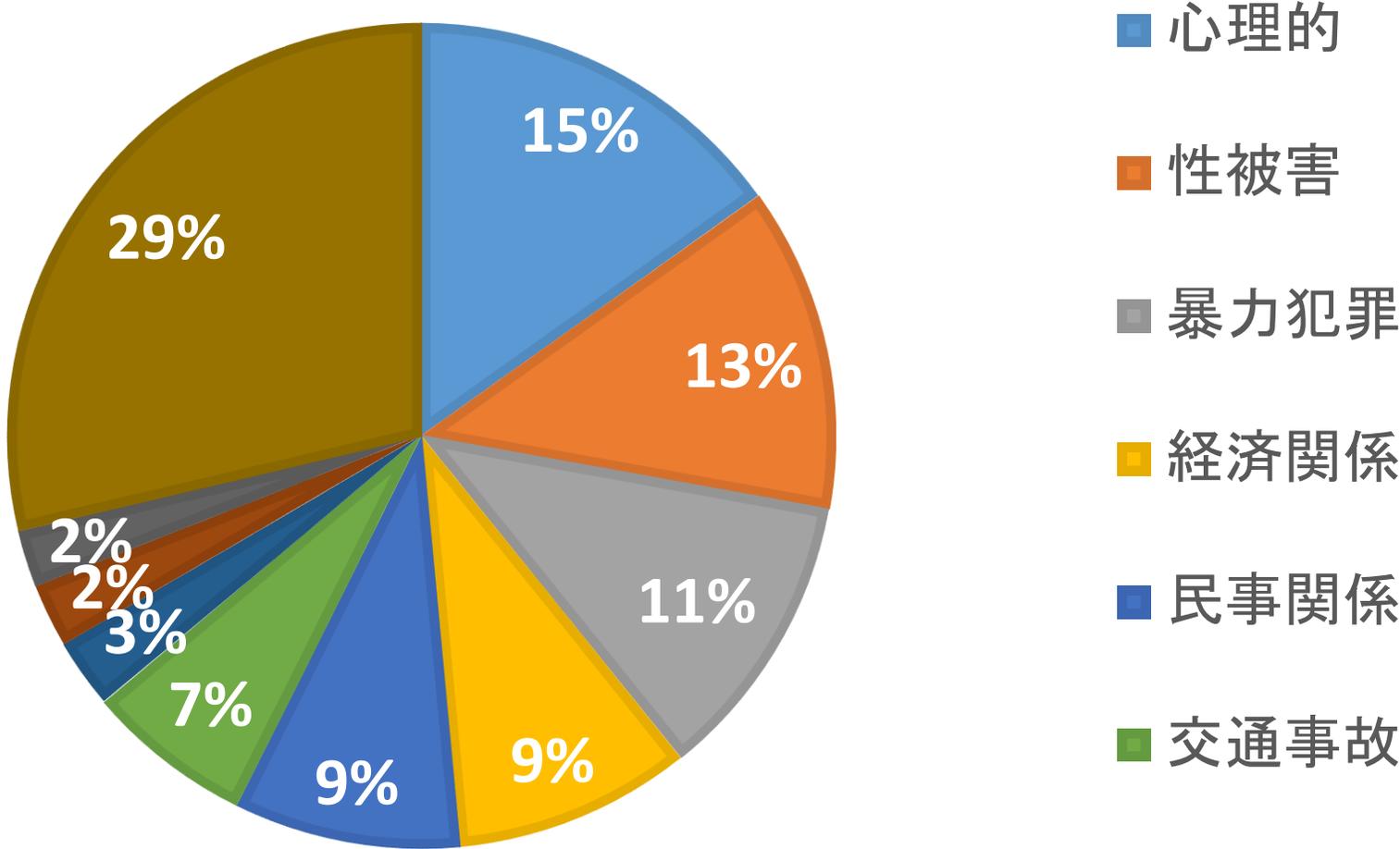


被害者支援

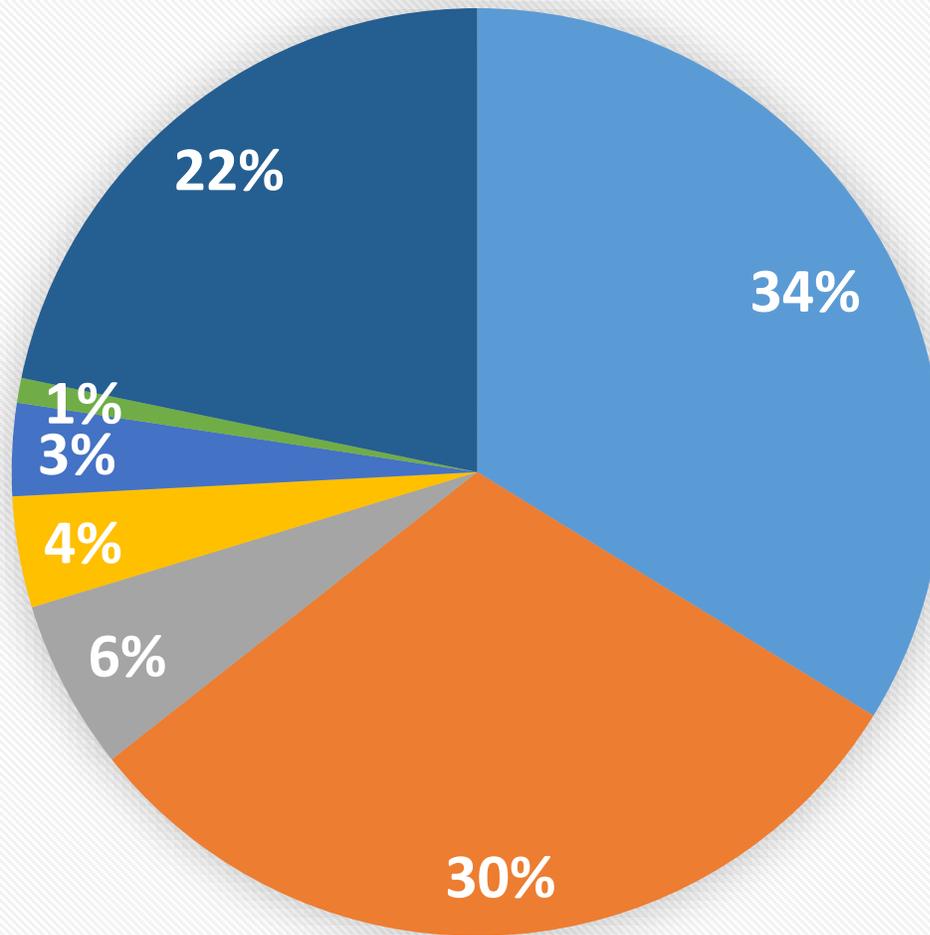
- 被害者が出会う問題
偏見、無神経、二次被害、・・・
- 被害者の心の傷
PTSD、解離、自責、・・・
- 被害者が望む支援
身の安全、取敢えずの相談相手、金銭的援助、法的知識、・・・
- 被害防止を念頭にした統計

被害別相談件数

総数7286件



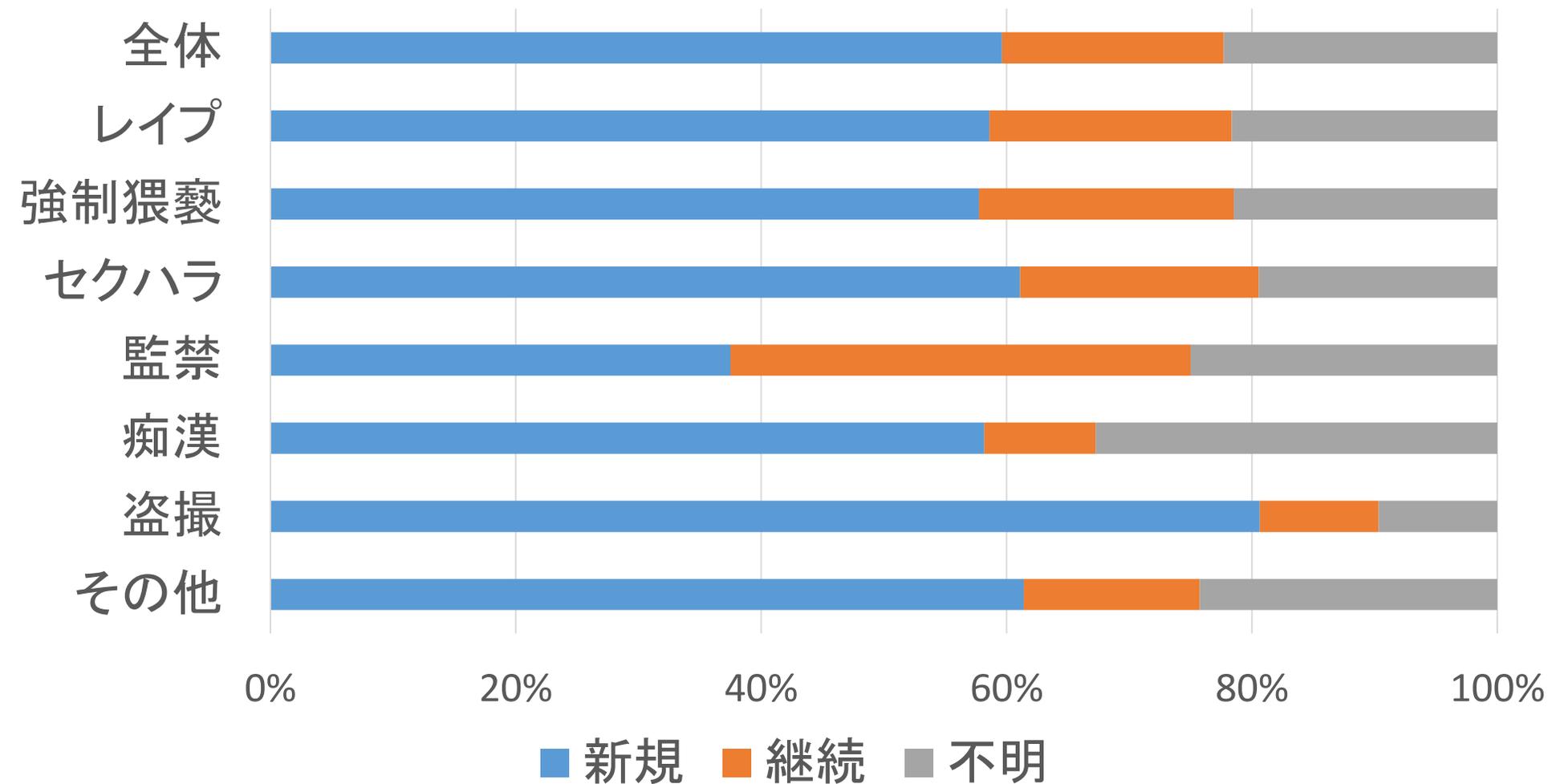
性被害の内訳 総数929件



- レイプ
- 強制猥褻
- 痴漢
- セクハラ
- 盗撮
- 監禁
- その他

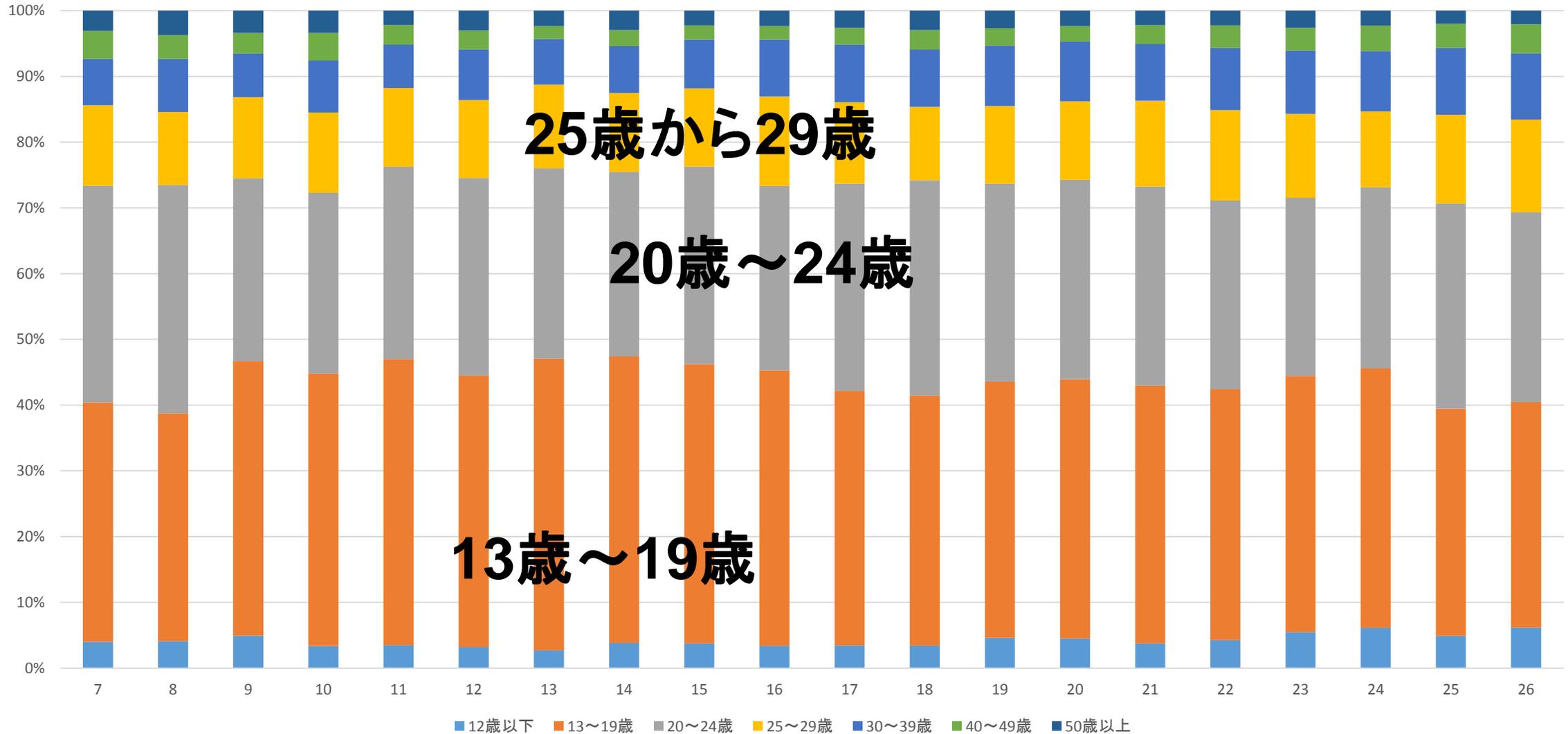
支援センター

性被害相談の新規・継続

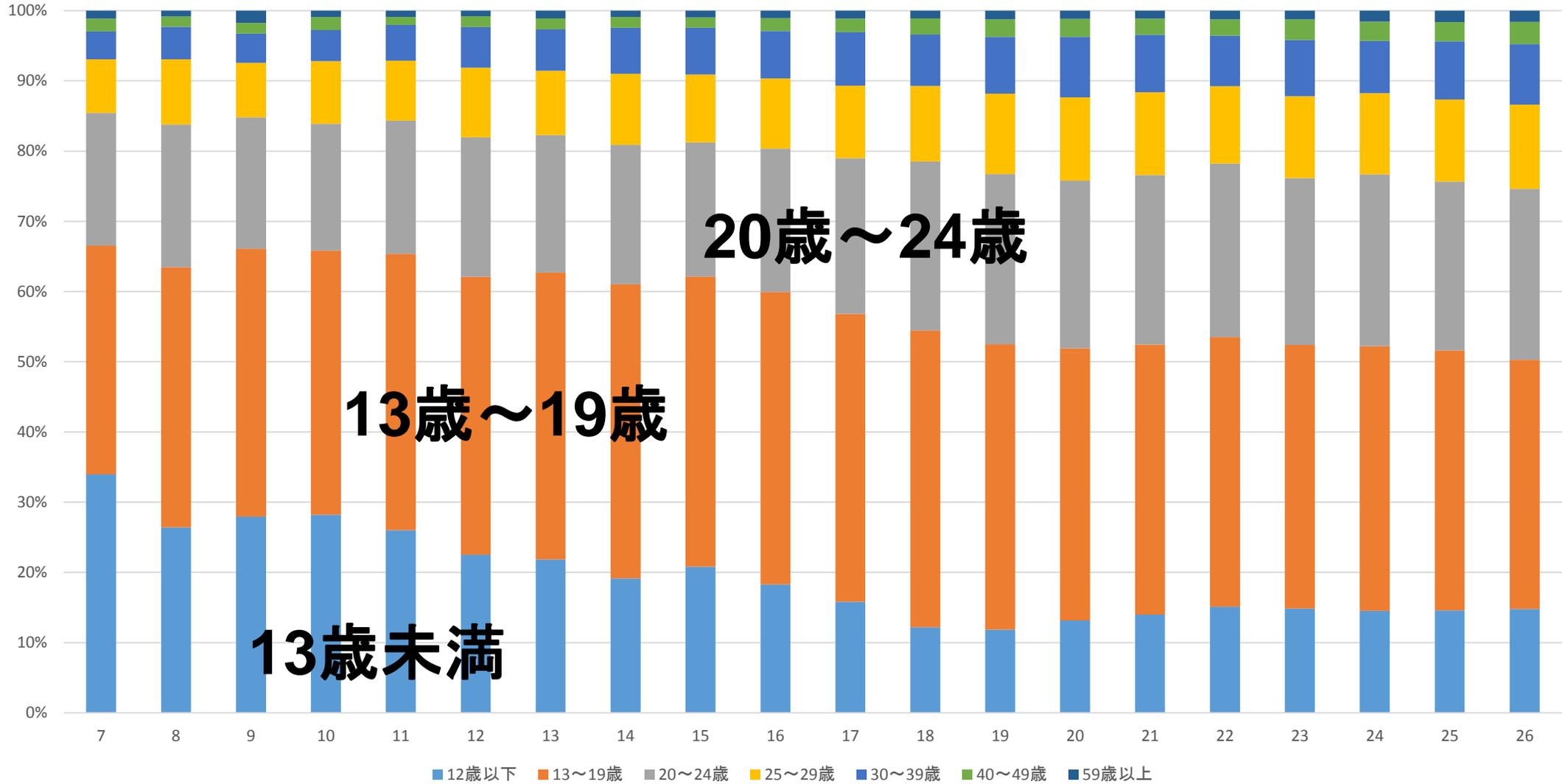


支援センター

強姦被害者の年齢



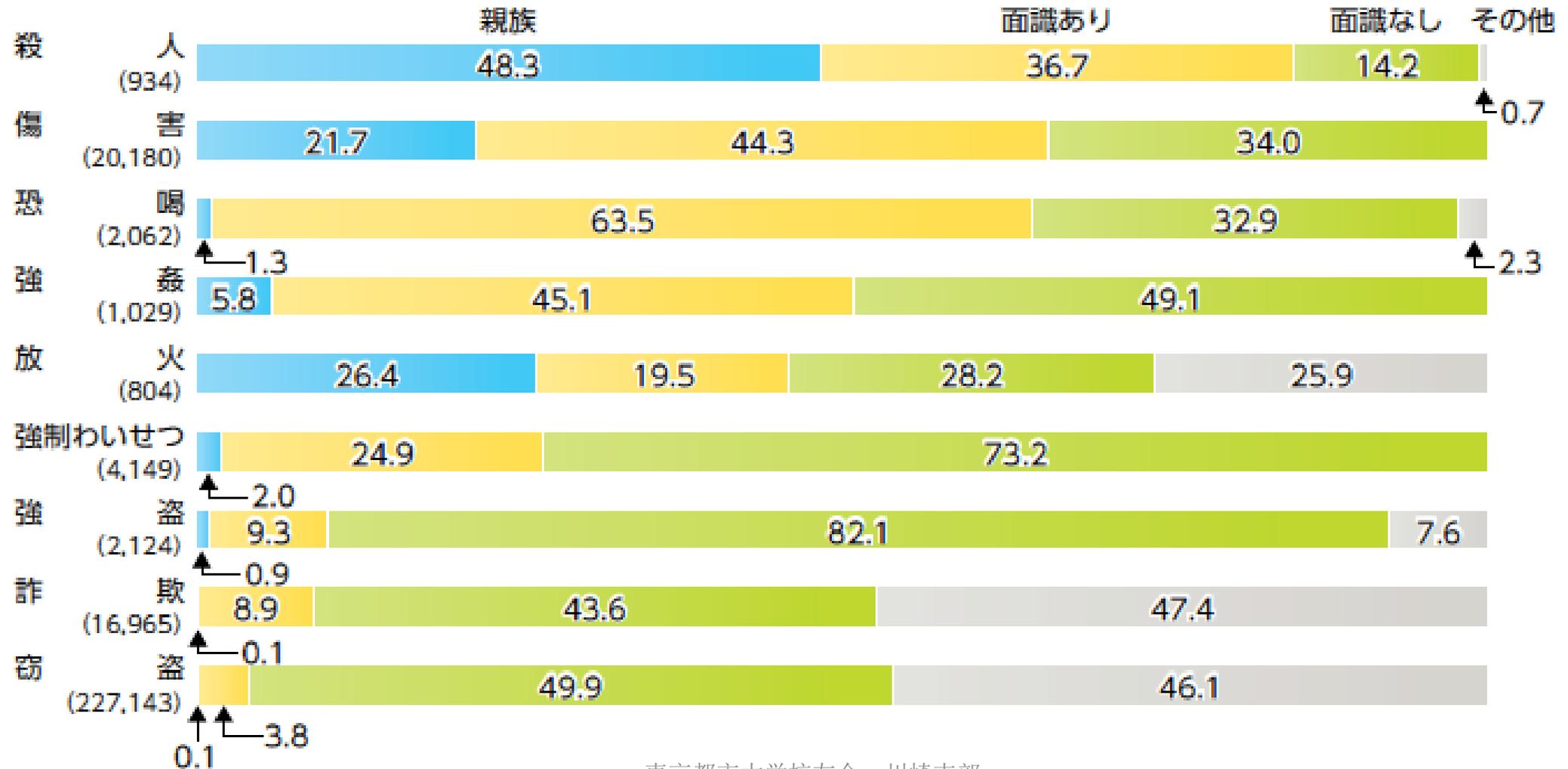
強制猥褻被害者の年齢



警視庁

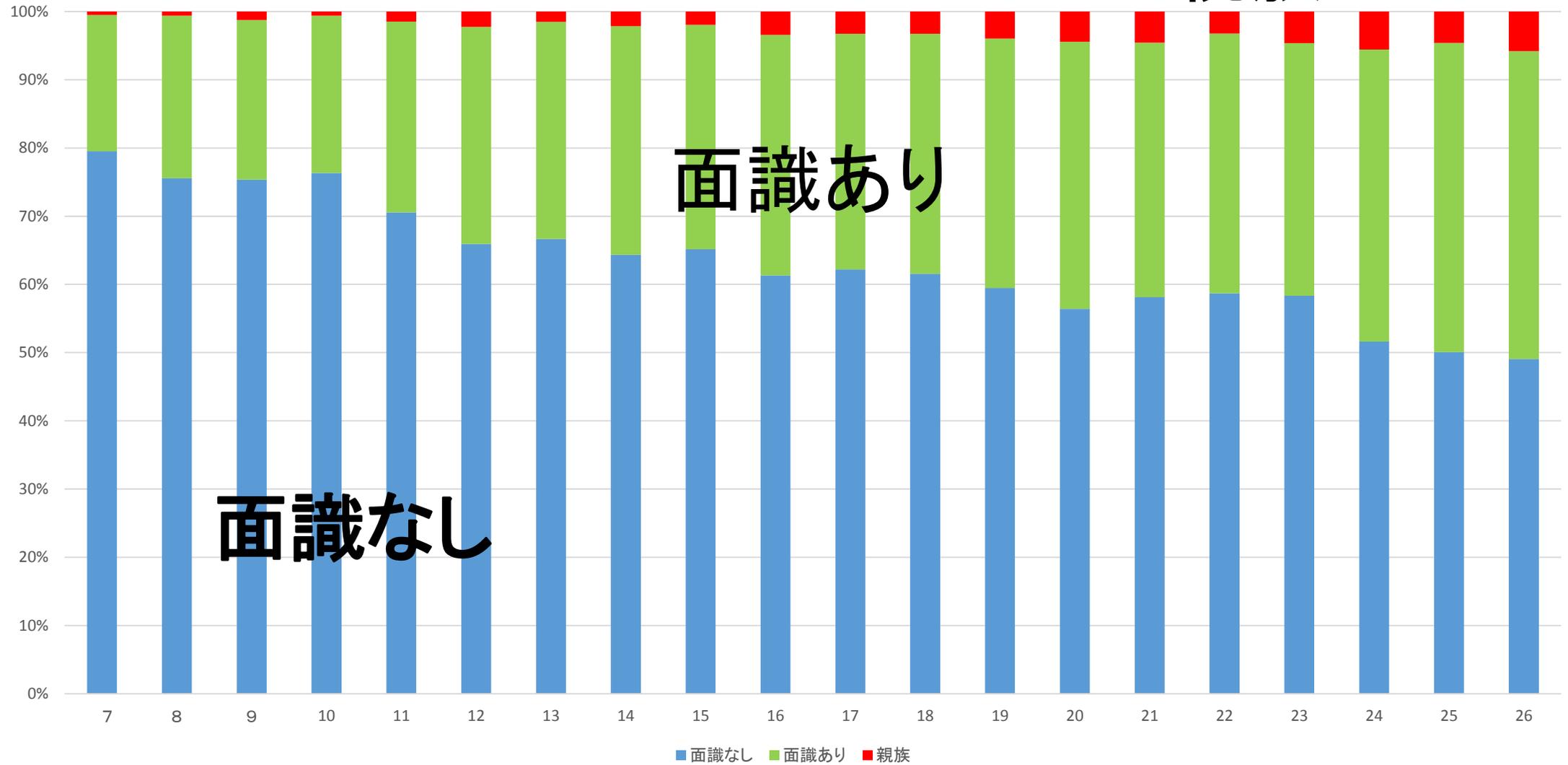
被害者と被疑者との関係

(平成26年)



強姦の被疑者

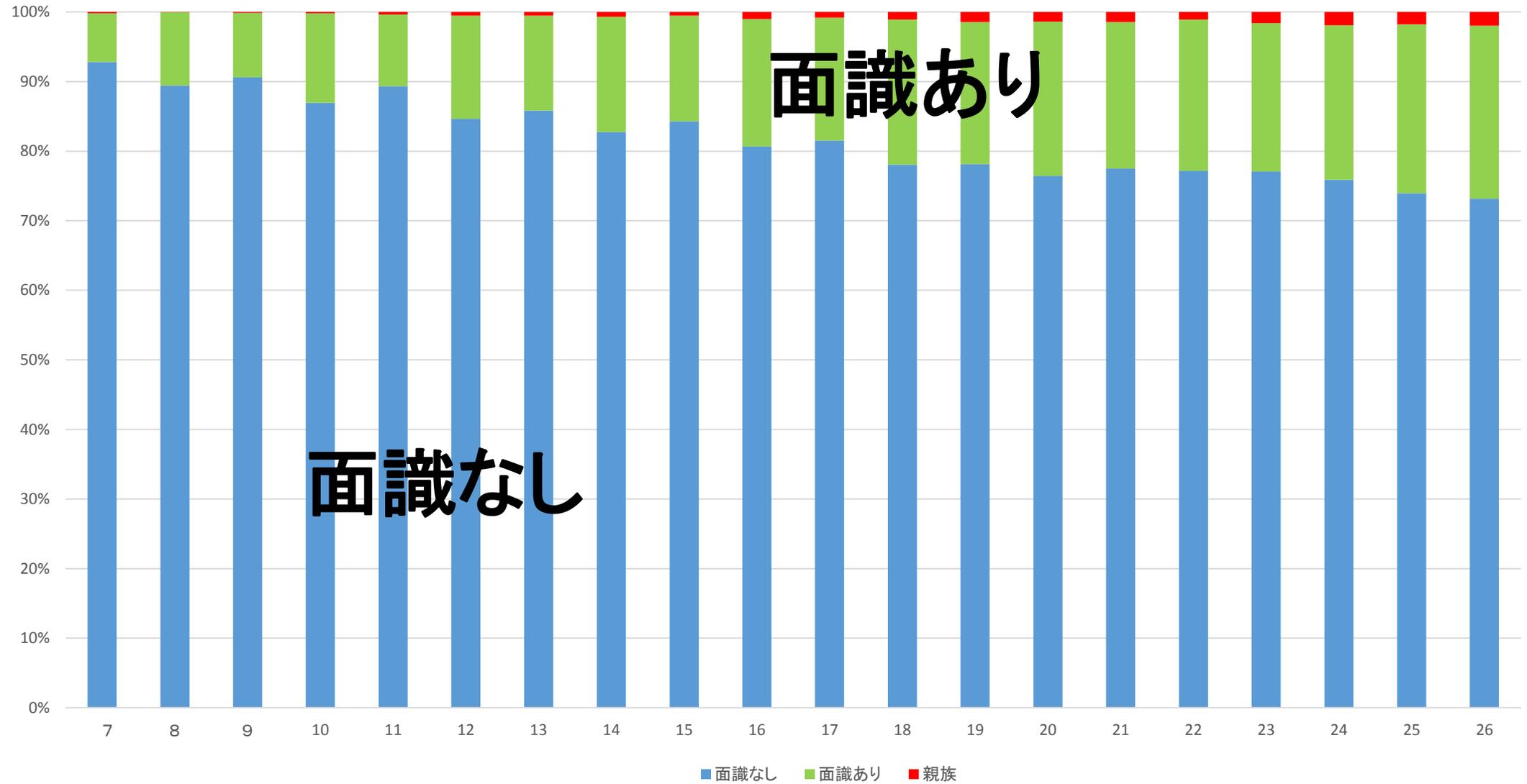
親族



面識なし

面識あり

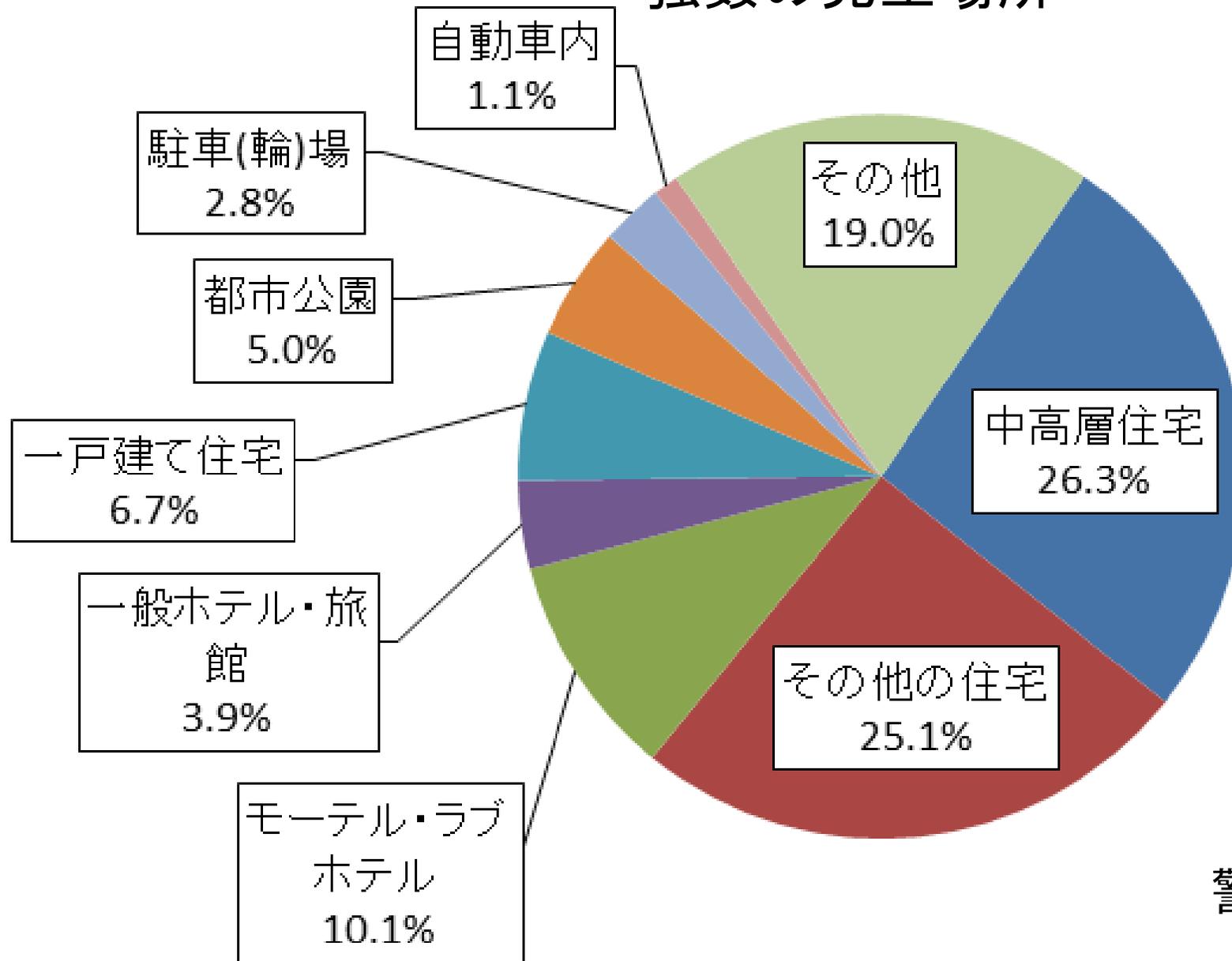
強制猥褻の被疑者



面識なし

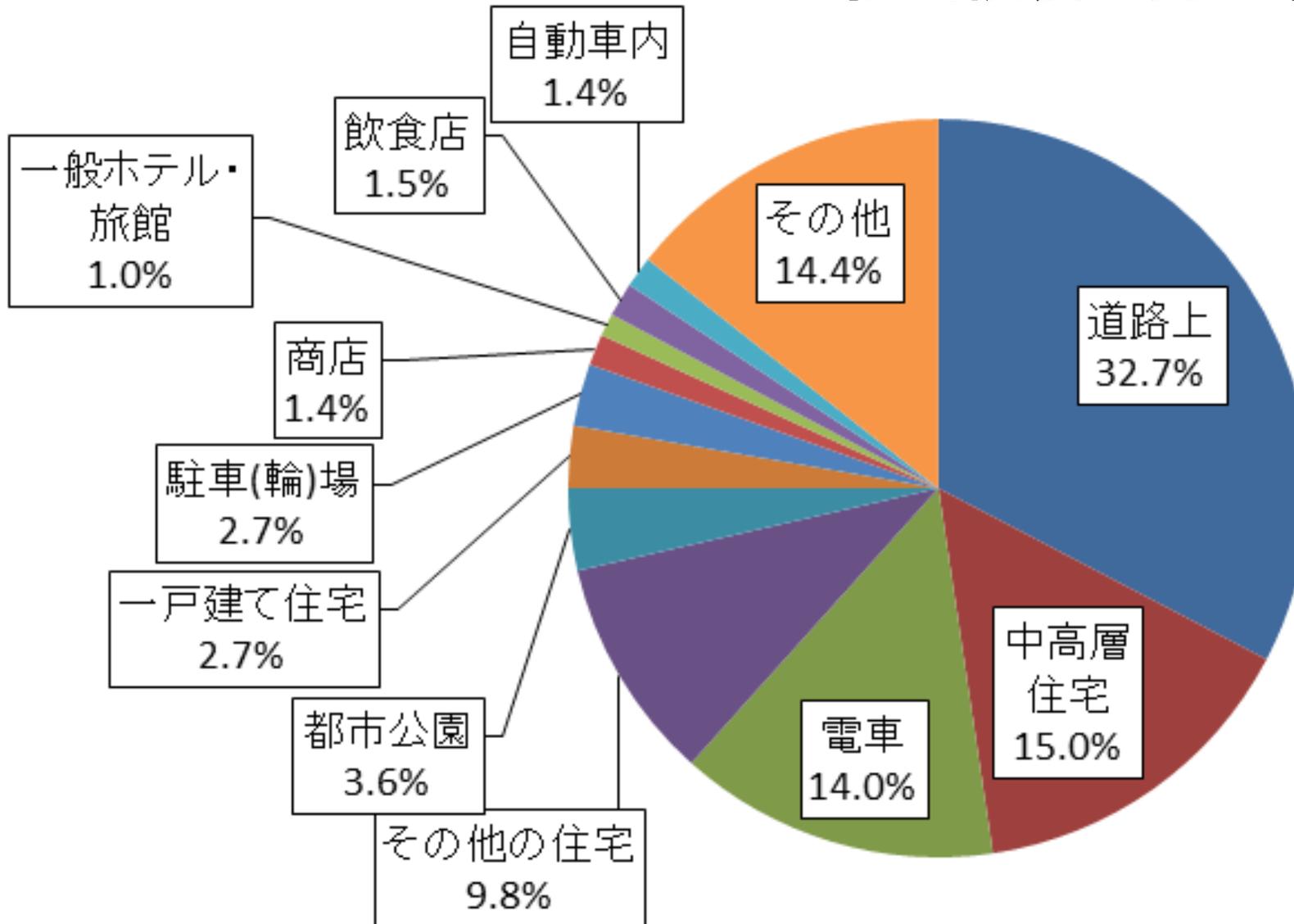
面識あり

強姦の発生場所



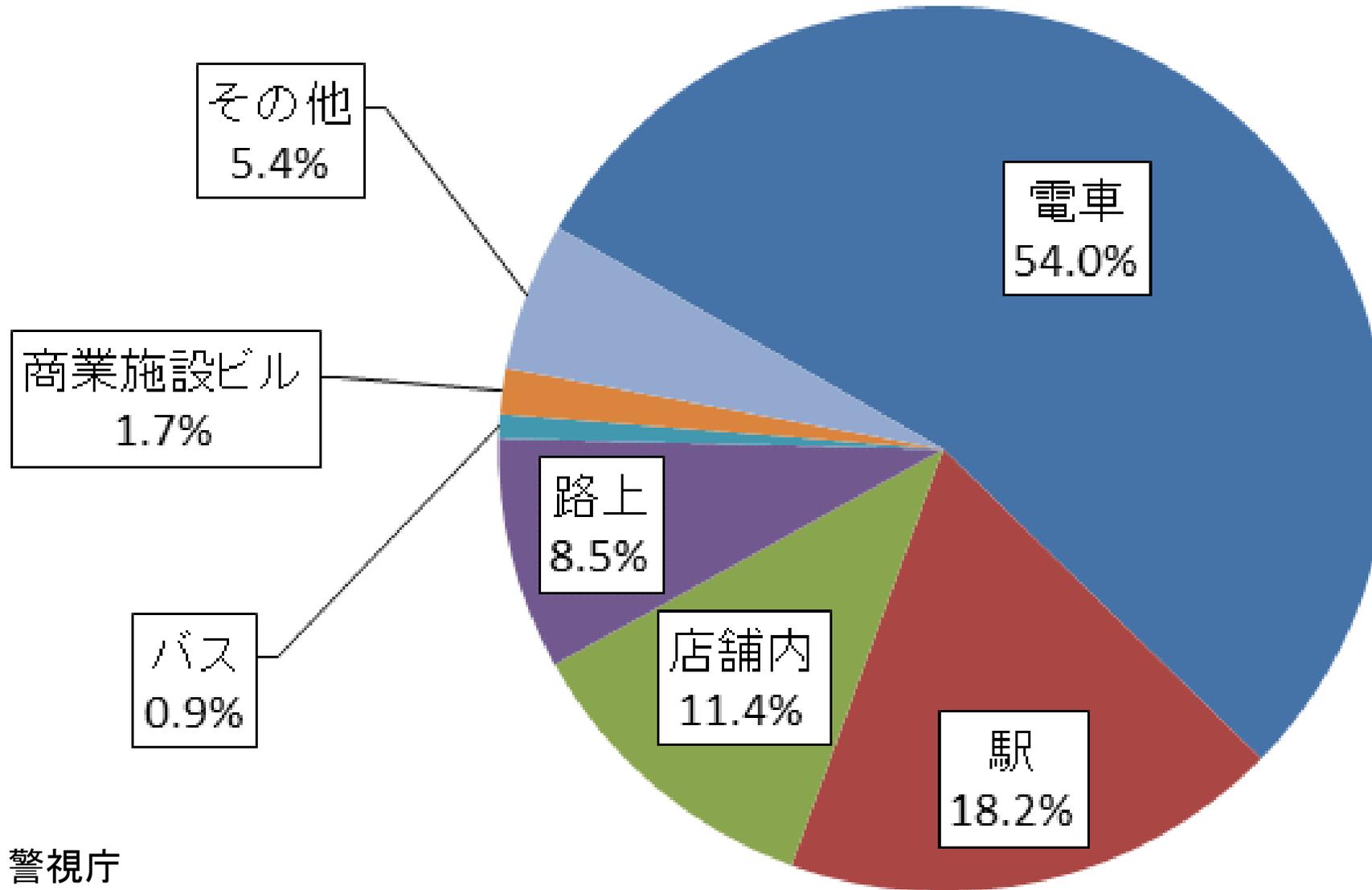
警視庁

強制猥褻の発生場所



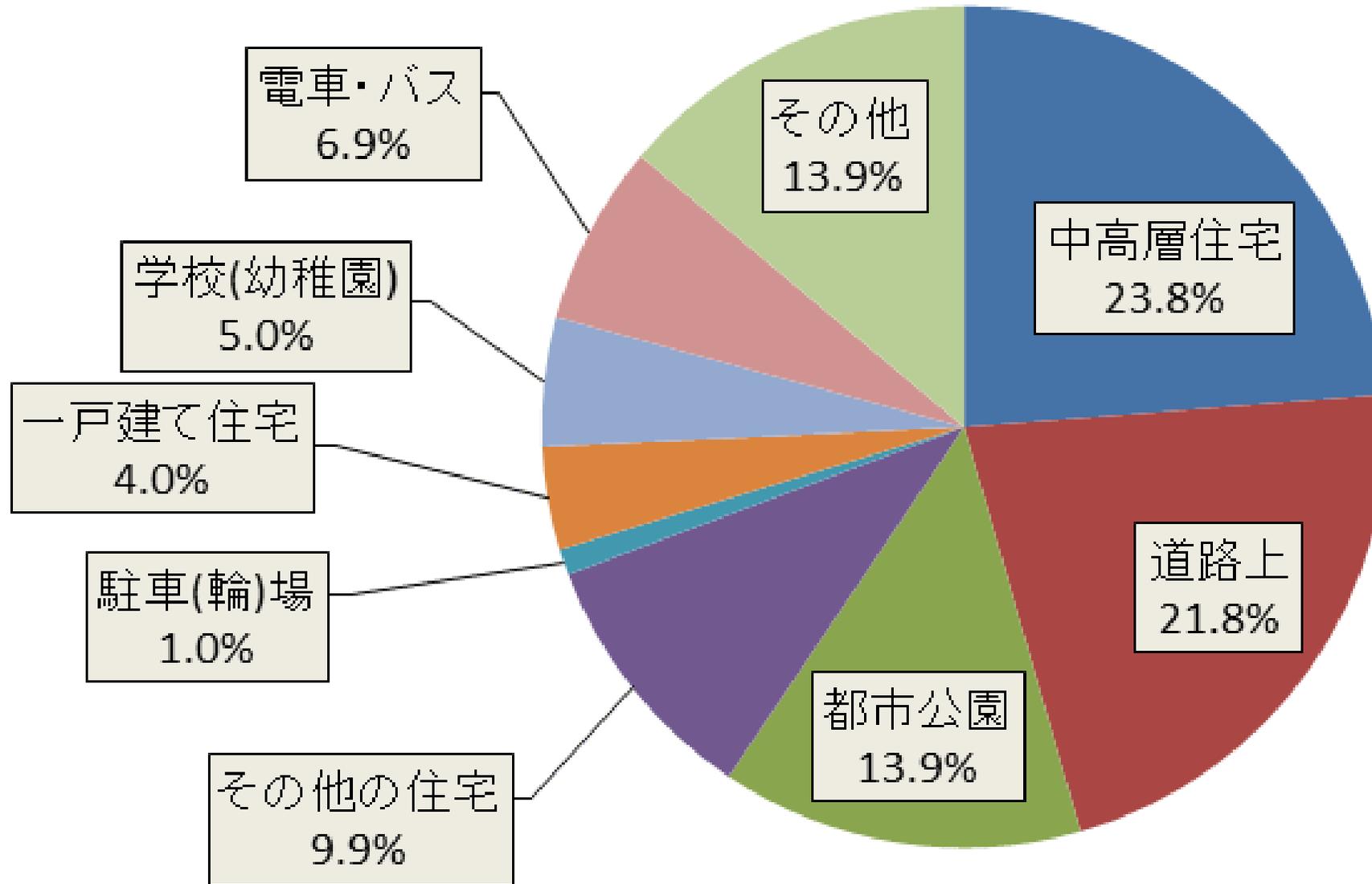
警視庁

迷惑防止条例違反の発生場所



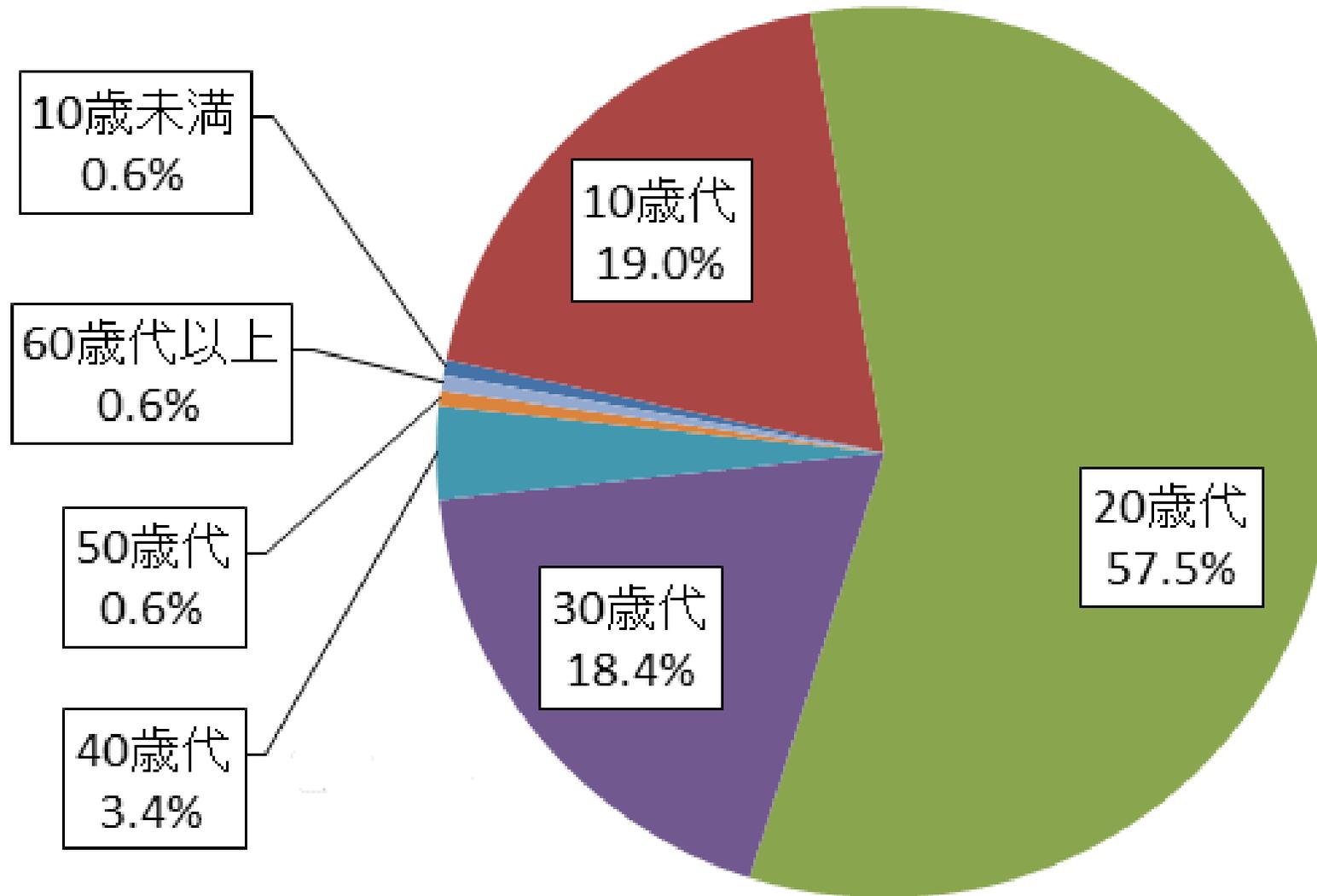
警視庁

13歳未満の性被害の発生場所



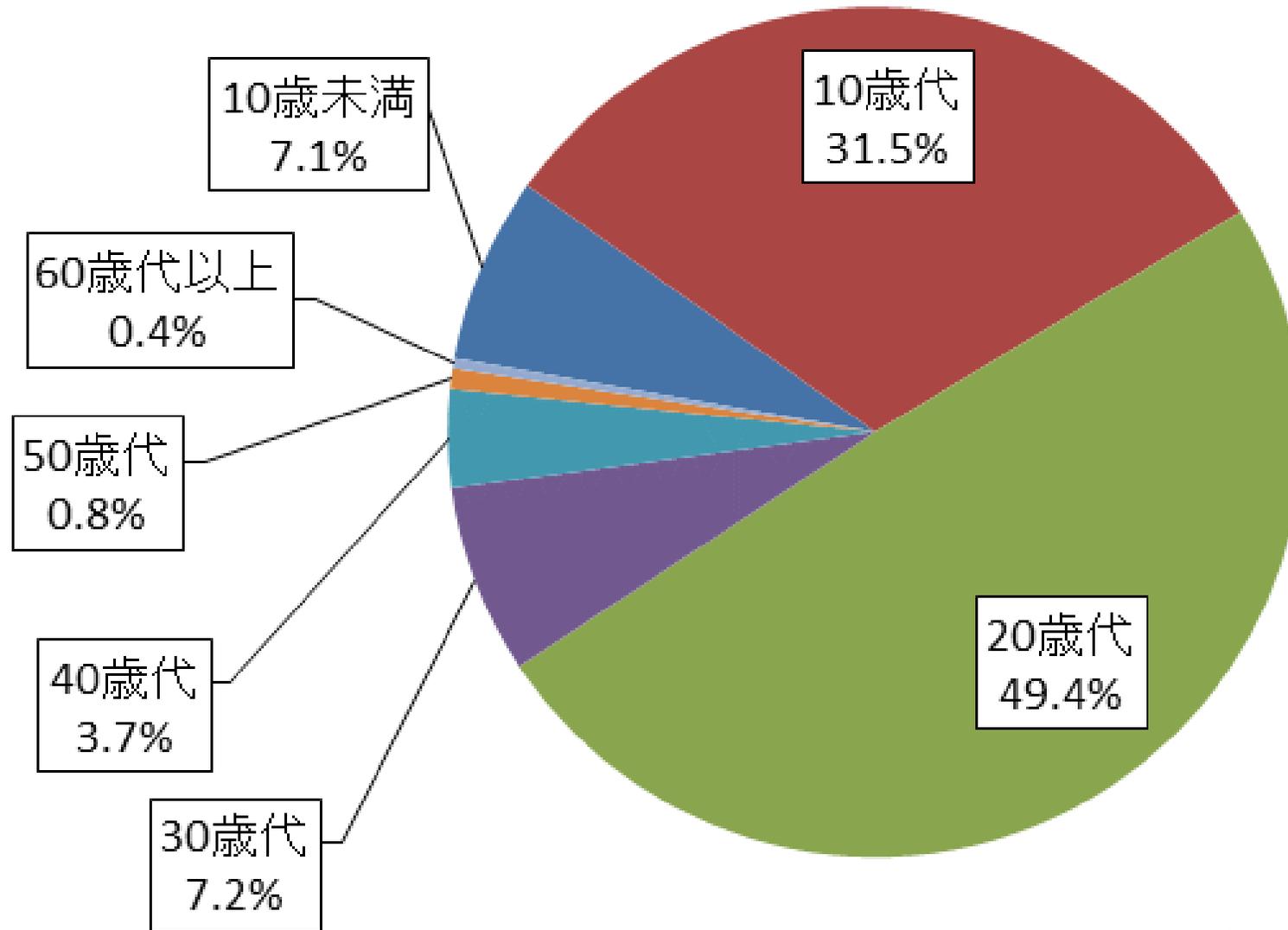
警視庁

強姦被害者の年齢構成



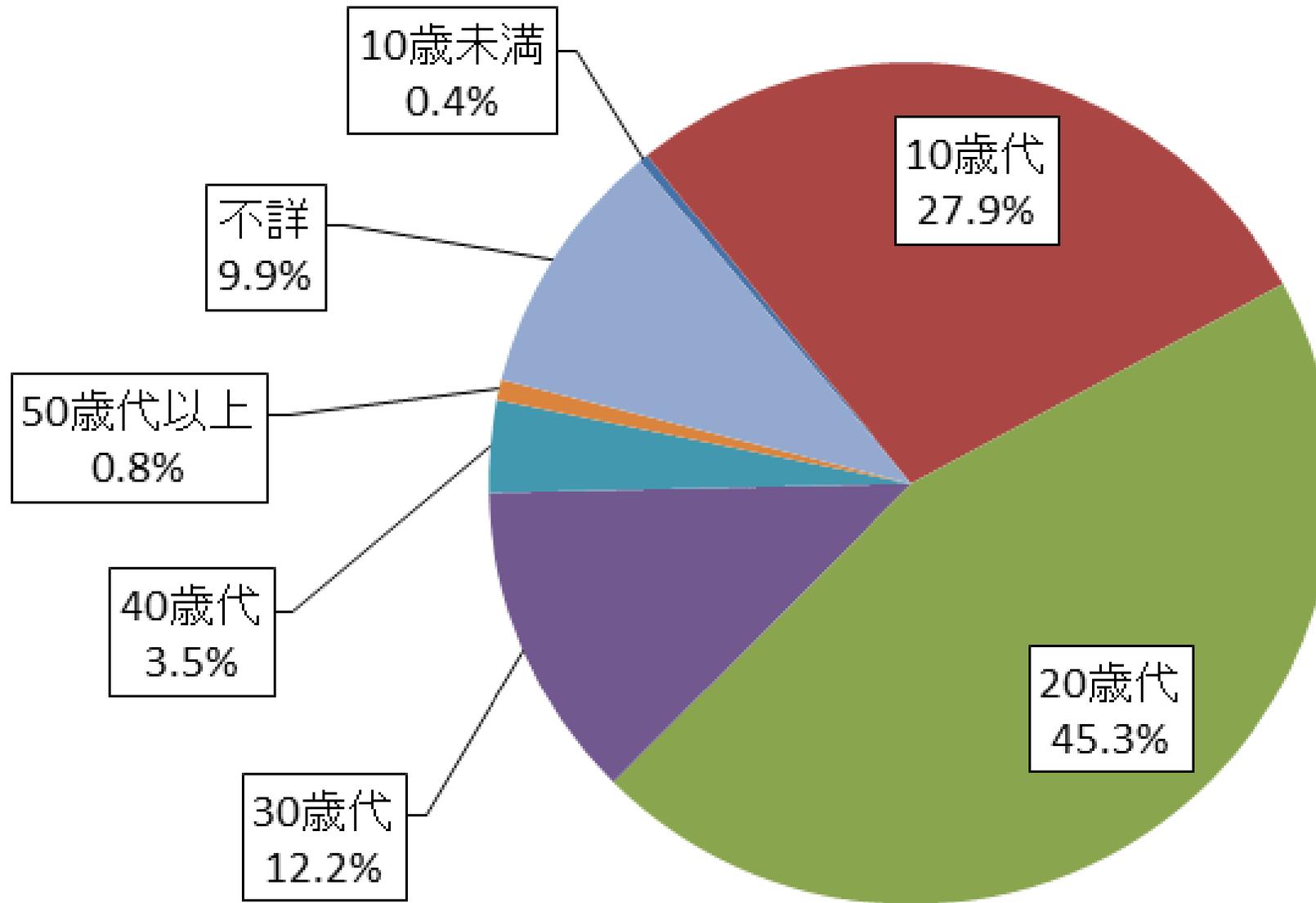
警視庁

強制猥褻被害者の年齢構成



警視庁

迷惑防止条例違反被害者の年齢構成



警視庁

なぜ犯罪は無くならないのか

- 刑法の問題
 法律は常に後追い
- 社会の進歩
- グローバル化
- 格差
 経済、人種、職業、...
- 孤立
 依拠すべき基盤
- 教育の問題

法律の問題(犯罪発生理由①)

- 領主を守る目的 ⇒ 刑法
- 領主の恣意的懲罰から市民を守る
- 国家への犯罪 ⇒ 弱い立場の加害者へ弁護士
- 被害者を生じた責任 ⇒ 法体系

- 法で定めぬ事案 ⇔ 国家権力発動できず
- 被害者は単なる証拠の一部
 - 最近ようやく被害者の権利が認められる
- 謎の独立国家ソマリランド

社会の進化(犯罪発生理由②)

- 生産・物流や情報処理技術の進歩
- 新たな需要(欲望)の創出
- 新しいタイプの富裕層の出現(富の分配の均衡が崩れる)
- 富の二極化が文化の違いを生む
- 人間らしい最低限の暮らし

↓
判定基準不明確

↓
皆と同一でない不安

- 住民による地域の差別化

グローバル化(犯罪発生理由③)

- 生物は環境に順応して生きている(システム工学の基本)
- 急速なグローバル化で混ざり合う
互いを理解する余裕がない



群れを作る



目に見えぬ社会階級化

- 差別を感じる階級の排他性、攻撃性、...
- 享楽・利益至上主義
- 問題行動をとる割合が増えたと地域が重荷を負えなくなる

格差(犯罪発生理由④)

- 格差が犯罪の温床
- 自由と平等(民主主義の基本)
男女平等、人種差別、同一労働同一賃金
- 理念は正しいが、前提条件なしは疑問
運動に優れるが成績は良くない子供
努力しても勉強ができない子供
- 能力差なしを前提とするシステム・社会
- 能力差を安易に認めると別の問題

孤立(犯罪発生理由⑤)

- 見えぬ壁 無縁社会で 孤に沈む
- 孤立の原因
 - 自己に責任
 - 社会システムやしきみ
 - 生まれ
- 孤立のキッカケ
 - ドロップアウト
 - 社会的少数派
 - 不幸な体験(引きこもり)
- 都会に出れば・・・
 - 最貧困女子

教育の問題(犯罪発生理由⑥)

- 学校教育
- 家庭教育
- 社会教育(アジアの学力が高い有望な説明)
 - セロトニン(幸福のホルモン)搬送遺伝子
 - L型(高い搬送能力)とS型(低い搬送能力)
 - LL型、SL型、SS型(アジア地域に多い)
 - 日本は7割がSS型、LL型は2%
- 諸外国における宗教の役割
 - 儒教はSS型に適した思想

恐ろしい話

- 多くの学問からの(断片的な)知見

単なる事実の報告



疑似相関等を排除した調査



性善説的人間観・社会通念の否定

- 行動の経済学

- 認めたくない事実

知能指数 (IQ) (恐ろしい話①)

- 貧困はIQを下げる
- IQは人種によって異なる
- IQは平均への回帰が顕著(人種)
マゼランと鄭和(ジョンワ? 14世紀・明の時代)
喜望峰発見の約80年前アフリカへ
100トン対8000トン 5隻対62隻 265人対3万人
- 3才時点の栄養不良は11才時点でのIQ低下を引き起こす
- 栄養不良の度合いが増すほど成長後の知能は低くなる

犯罪者になる子供（恐ろしい話②）

- 親が犯罪者
- 妊娠時母親が飲酒、喫煙
- 心拍数が少ない
 - 心拍数：男児は女児より6.1回/分少ない
- 3歳時点で親の愛情が少ない
- 3歳時点で不快刺激に発汗が少ない
- 集中力の欠如

- 体温が高いと長寿？

虐待(恐ろしい話③)

- 新生児がその日に殺される割合は他の日に殺されるより高い
- 殺された新生児の95%は病院で生まれていない
- 虐待の定義
 - 身体的暴行、保護の怠慢ないし拒否、性的暴行
 - 心理的虐待、登校の禁止
 - (虐待者を親と限定することに問題あり)
- 義理の父親による子供の虐待は実父による虐待より多い
- 虐待者の80%は人格・精神上の問題を抱えている
- 非虐待経験者は虐待することが多い
- 虐待が子供に極めて深刻な影響を与える
 - 身体、知能・認知、精神

レイプ(恐ろしい話④)

- 男は女に比べはるかに暴力的、攻撃的である
- 卵子は極めて貴重で、女性は相手を選び好みする
- 精子は生産コストが低く、男性は機会さえあれば子供を作れる
- 男性は人間(という動物)のオスである

- 性生活

テナガザル : 一夫一妻制

ゴリラ : 一夫多妻制

チンパンジー : 乱婚

ボノボ : 乱婚

反社会性人格障害(恐ろしい話⑤)

- 犯罪とは無縁の人、隠れ犯罪者、犯罪者に対する実験

	一般人	隠れ犯罪者	犯罪者
安静時心拍数	多い	少ない	少ない
ストレス時心拍数	上昇	急上昇	少ない
不快条件下発汗	多い	少ない	少ない
実行機能	高い	より高い	低い

暴力の解剖学 紀伊国屋書店

遺伝(恐ろしい話⑥)

- 身長遺伝率は66%

身長のバラつきのうち 66%が遺伝で説明できる。**確率ではない**

- 次の遺伝率はどのくらいか

体重 **74%**

アルコール中毒 **約55%**

躁うつ病 **83%**

統合失調症 **82%**

知能(IQ) **約80%**

論理的推論能力 **約70%**

極めて高い反社会的人格障害を持つ子供 **81%**

異常性が顕著な子供の反社会的行動 **96%**

まとめに代えて(1)

- 反社会的行動と脳の状態
共通してみられる脳の変質
必ずしも逆は真ならず
- 生まれながらに反社会的行動を起こす脳の状態
予備軍は予知可能
隔離か予防教育か
予防教育は可能か
- スイッチオンを躊躇させる良心
叱られることで芽生える良心
- 人はどこまで自由でいられるか

まとめに代えて(2)

- 能力差を認めた平等社会
ブータンやホセ・ムヒカの説に光は見いだせるか
資本主義と競争社会に決別した後に残るもの
- 格差をなくす取組
それは公平か
- 教育の役割
崩壊した社会環境の修復
人間教育と勸善懲悪思想の徹底
- 古き良き日本人のDNAはまだ存在する
- 「名こそ惜しめ」の武士道精神
- 折に触れ、襟を正し隙を隠す

参考文献

- エイドリアン・レイン、暴力の解剖学、紀伊国屋書店
- 鈴木大介、最貧困女子、幻冬舎新書
- ランディ・ゾーンヒル他、人はなぜレイプするのか、青灯社
- D・C・ロウ、犯罪の生物学、北大路書房

- ホセ・ムヒカ、心に響くスピーチ、角川書店
- 渡辺祐基、ペンギンが教えてくれた物理のはなし、河出書房新社
- 新渡戸稲造、武士道、PHP
- 鈴木大拙、禅学への道、アートデイズ